

**特集** HP運動企画 **"和のあるスタイル"**

和=LessDesign

モダンでミニマルな建築や空間はとても清々しく、現代的な暮らしにおいて無くてはならないスタイルとして定着しています。それと同時に「和のある暮らし」も我々日本人にとっては離れ難く、年代にかかわらず心安らぐスタイルの一つです。一見大きく異なる西洋モダニズム建築と日本の伝統的な建築ですが、構造と一体になった軽快で開放的な美しい和の空間は、モダニズム的空間と多くの共通性を見出すことができます。純和風ではなく、現代的な生活空間の中に「和」のデザイン要素を取り込み、ハイセンスでありながら癒しのある空間を創出していきたく考えています。「LessDesign=装飾を排した和の精神」ととらえ、加藤一成建築設計事務所らしい「和」の空間をご提案いたします。ホームページでも「和のあるスタイル」のコーナーを開設いたしますので、そちらもご覧ください。



お知らせ



□秋田市で建築家展に参加します。

ASJ 秋田イーストスタジオイベント  
第3回来をのぞく住宅展

イオンモール秋田 3F・イオンホール  
秋田県秋田市御所野地蔵田1丁目1-1  
9/3(土) 11:00 ~ 18:00 入場無料  
9/4(日) 11:00 ~ 17:00 入場無料

開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。  
詳しくはこちらをご覧ください。

MEDIA



現代日本の建築 VOL.4  
(ART BOX international 社)に、全国の有名建築家 150 余人と共に掲載されました。

ART BOX インターナショナル HP 紹介文より

建築と一口にいても、個人住宅から大都市の設計まで多岐に渡りますが、本書では多様に広がり、変化を見せる現代日本の建築シーンを幅広く展望する意味で、古民家の再生、町なみ保存から最新の近代的オフィスビル、文化施設、医療施設、教育施設、集合・個人住宅や都市計画まで、現代日本を代表する現在活躍中の建築家から 150 名を超える建築家の作品を掲載しています。

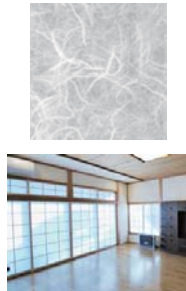
スタッフの日常・非日常 vol.39



いやー今年の紅葉もきれいでしたなー。ってあれ？事務所の前の公園の樹が散ってしまいましたよ。早とちりですかね。おつかれさまでした。

住宅の申請で八戸に行ってきました。昨年、設計させていただきお世話になったお宅を初めて見に行きました。急だったので、勝手に外から眺めるだけ。建築見学者と不審者は紙一重？ですが、閑静な新興住宅地で久しぶりに不審者をやりました。ジロジロうろろ。秋田市以外だと、実際に建ったものを見る機会が少ないのですので良かったです。あと八食センターで少し観光を。

今月のマテリアル



ワーロンシート

障子といえば、当然和紙ですが、破れやすいのが難点です。ワーロンシートは和紙をプラスチックシートで両面サンドした、または和紙模様をプリントした商品です。簡単に言うと、ぶ厚い障子紙です。軽くて割れにくく、メンテナンスが楽なので、使い勝手の良い製品です。和紙の風合いをそのままにしているので、和のある暮らしを演出するのに役立ってくれます。

編集後記

みなさん、こんにちは。東北は各地で夏祭りの季節を迎え、今が夏のピークという感じです。そしてお盆ももうすぐで、自分の中でも一区切りを付け、できれば少しゆっくりしたいと思っています。仙台オフィス開設から 9 ヵ月、震災から 5 ヵ月が過ぎようとしています。本当に早いですよね。ブログの仙台日誌も今回で 37 回目。9 ヵ月で 37 往復、それだけで 18500km 走ったこととなります。しかし、まだまだ始まったばかり。ちよっと辛い時もありますが、何事も楽しんで取り組んでいきたいと思っています。さて今回のテーマは「和」。いろいろな建築スタイルがある中で、私もそうなのですが、シャープでスタイリッシュな空間こそ最高でつついっかっこいい空間を追い求めてしまう傾向があります(笑)。ところが各地の建築家展などでお話をしてみると、「和」のスタイルがお好みという方も少なからずおられます。年齢的にある程度上の方もそうですが、30 代の若い世代にも共通した傾向かと思えます。そこで改めて自分の設計事例の中から「和」のテイストを持った画像を選び出してみると、そこに自分の「和」感を見出せるような気がしますし、さらに意識的に(広い意味での)「和」を取り入れていくのもいいかな、と考えています。それでは、次回もお楽しみに。よいお休みを。



今月の加藤一成  
ピカピカのタンクローリー後部に  
映り込む、空と景色と愛車  
ただし、じっと見ると危ない

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所  
TEL. 022-739-8931 018-831-4315  
FAX. 022-739-8932 018-831-4316  
HP. <http://www.issei-design.com/>  
BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>  
MAIL. [info@issei-design.com](mailto:info@issei-design.com)